

## ISMS 基本方針

### 1. 目的と活動の原則

株式会社フィールド環境サービス（以下、当社）は、お客様、お取引先様、従業員はじめ多くのステークホルダーとの関係から成り立っております。

お客様が不要となった、パソコン、OA 機器、携帯電話及びその他電子機器等の産業廃棄物や有価物の安全な処理及び、更にレベルの高い再資源化処理により資源循環社会作りを推進し、お客様から安心・安全に対する信頼をいただき、安心・安全のブランドを築くことが重要です。

そのため、お客様の産業廃棄物と有価物に関する情報及びその資産、また当社の情報資産を守ることは、重要な責務と考え、安全かつ完全なセキュリティ対策を提供していくことを目的に、この「ISMS 基本方針」を定め、当社が取り扱う資産の適切な保護対策を実施するための指針とします。

この方針に沿って、情報セキュリティマネジメントシステム（以下、ISMS）を確立し、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善を行います。役員を含むすべての従業員は、この目的を理解し、当社の ISMS 基本方針ならびに確立した ISMS の規定や手順を遵守することで、情報セキュリティ重視の考えで業務を遂行します。

### 2. 法令・規定・規則

当社の情報セキュリティに関連する不正競争防止法、個人情報に関する法律、不正アクセス禁止法等を明確にし、遵守するとともに、契約上の義務及び法令・規制に関連する社内規則・基準等を明確にし、これらを確実に遵守・履行するための対策・体制を確立する。

### 3. ISMS 組織環境の確立

事業とリスク及びその環境変化を適切に把握し、対処することを目的としたリスクマネジメントを確立・維持する組織として、情報セキュリティ管理責任者を議長とする ISMS 会議を設置する。併せて、具体的なセキュリティ対策を実践していくために協調して活動できる体制を作る。ISMS 会議は社長を含む合議制の審議機関として活動する。

### 4. リスクへの対応

お客様の産業廃棄物と有価物に関する情報及び当社の情報資産の機密性を最重要視する。それらを維持・運営管理するには、当社の情報処理施設の可用性に関しても重要視する。

リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとし、継続してレビューを行えるものとする。

### 5. 教育の実施

経営者の指示のもと、情報セキュリティ管理責任者は、リサイクル・産業廃棄物処理・運用・サービス業務におけるセキュリティを含めた教育の実施と業務全体との関連における基本的なセキュリティに対する教育を、役員を含めた全従業員に行う。

平成 22 年 11 月 1 日：制定

平成 25 年 1 月 24 日：改訂

株式会社 フィールド環境サービス  
代表取締役 呉 榮文